



CAT4.12 リリースノート

最終更新日 2016/04/12

目次

リリースノートについて	1
リリースノートの内容	1
フィードバックについて	1
1. 主な機能強化	1
1.1. 外部 BTS 連携強化.....	1
1.1.1. Backlog 連携サポート	1
1.1.2. JIRA 連携強化(JQL/初期値).....	2
1.1.3. 外部 BTS のログイン情報の一元管理.....	4
1.2. BTS 機能強化.....	4
1.3. Slack 連携サポート.....	5
1.4. メール送信形式.....	7
2. 障害要望対応一覧.....	9

リリースノートについて

リリースノートは、CAT の最新リリースに関する総合的なユーザガイドです。CAT リリースノートは、新機能や強化機能、そしてそれらをすぐに活用するために必要な情報を提供します。

リリースノートの内容

リリースノートでは、新しい重要な機能強化について次の情報を提供します。

- ・ 機能に関する簡潔で詳細な説明
- ・ 設定と管理の開始にあたって役に立つ実装のヒント
- ・ メリットを最大限に引き出すのに役立つベストプラクティス
- ・ 詳細な説明

主な新機能以外のメール、新しいレポートタイプ、セキュリティとパッケージなど、最新リリースに含まれるその他の機能強化や機能変更の一覧と簡単な説明は、その他の機能強化の章に記載されています。

CAT の最新リリースを使いこなすためのガイドとして、リリースノートをお役立てください。

フィードバックについて

CAT が成功を収めるには、リリースノート、オンラインヘルプ、およびドキュメントがいかに重要であるかを認識しています。提供するコンテンツの継続的な向上のために、成功要因と失敗要因を把握したいと考えています。情報のご提供をお待ちしております。

1. 主な機能強化

CAT4.12 では主に外部 BTS 連携強化、BTS のフィルター機能強化、Slack 連携サポート、メール送信形式対応を行いました。以下で各内容を説明します。

1.1. 外部 BTS 連携強化

CAT4.12 では外部 BTS 連携機能強化を行いました。主に以下の 3 機能について説明します。

- Backlog サポート
- JIRA 連携強化(JQL/初期値入力)
- 外部 BTS ログイン情報の一元管理

1.1.1. Backlog 連携サポート

Redmine、JIRA との連携に加え、今回 Backlog との連携をサポートしました。CAT と Backlog の課題を同期することができます。

Backlog 連携を行うには、連携したいプロジェクトの外部 BTS 設定を開いてください。外部 BTS 設定を開いたら外部 BTS 連携を ON、モードを同期モード、外部 BTS を Backlog とします。

外部BTS設定ウィザード(1/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

外部BTS連携	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
モード	<input checked="" type="radio"/> 同期モード <input type="radio"/> コピーモード
外部BTS	<input type="radio"/> Redmine <input type="radio"/> JIRA <input checked="" type="radio"/> Backlog
URL	<input type="text" value="https://[]-[]-[]backlog.jp"/>
APIキー	<input type="text" value="[]-[]-[]-[]-[]-[]-[]-[]-[]-[]-[]"/>
プロジェクトキー	<input type="text" value="[]-[]-[]"/>

次に CAT と連携する Backlog を開き URL、API キー、プロジェクトキーを確認し、入力してください。

1. URL の取得

連携する Backlog の適当なページを開き URL のホスト部分（例：<https://~.backlog.jp>）をコピーしてください。



2. API キーの取得

個人設定の API を開いてください。CAT 連携用の API キーを発行しキーをコピーします。



3. プロジェクトキー取得

CAT と連携したいプロジェクトのプロジェクト設定の基本設定を開きます。プロジェクトキーをコピーしてください。



URL、API キー、プロジェクト識別子の入力完了したら次へボタンを押し次の設定へ進んでください。Backlog 固有の設定は以上です。以降の設定はマニュアルの Redmine または JIRA の連携設定を参考に行ってください。

※Backlog 連携時の制約事項

Backlog 連携処理の制約として、テスト実行管理からの課題起票時に以下の項目が自動設定されません。課題起票時に手動での設定をお願いします。

- ・ テスト環境
- ・ 種別
- ・ テストケース関連付け

1.1.2. JIRA 連携強化(JQL/初期値)

JIRA 連携の強化を行いました。JIRA の JQL を利用し CAT と同期する課題の絞込みと、課題起票時の初期値入力が可能となりました。

1.1.2.1. JQLによる連携課題の絞り込み

従来の CAT では JIRA 連携時、設定したプロジェクト内の全課題を同期の対象としていましたが、今回から JIRA の JQL を使って同期の対象とする課題を絞り込むことができるようになりました。これによって CAT と同期すべき課題を、JQL で絞り込みが可能になりました。

JQL は外部 BTS 設定ウィザードの種別設定で入力できます。JQL の詳細については以下の URL を参照してください。

Advanced Searching:

<https://confluence.atlassian.com/jira/advanced-searching-179442050.html>



1.1.2.2. 課題起票時の初期値入力

従来の CAT では課題の起票時にプロジェクト、テストケース、テストケース URL、課題タイプ、コンポーネント、バージョンの初期値入力が可能でした。本バージョンからはこれらのフィールドのみでなく、課題起票時のベースとなる URL を入力することで、任意のフィールドに対して初期値を入力できるようになりました

CAT から登録する際に、ベースとなる URL を設定することで初期値入力を行います。URL は以下の形式に従っている必要があります。

[JIRA BASE URL]/secure/CreateIssueDetails!init.jspa?[ARGUMENTS]

URL の形式については下記 URL を参照してください。

Creating Issues via direct HTML links:

<https://confluence.atlassian.com/display/JIRA051/Creating+Issues+via+direct+HTML+links>

項目	説明
JIRA BASE URL	連携している JIRA の基本 URL です。
ARGUMENTS	初期値入力を行うフィールドと値を入力してください。例： pid=10420&issuetype=4

CAT 4.12 リリースノート



外部BTS設定ウィザード(5/6)

1. 基本設定 > 2. 種別設定 > 3. 共通設定 > 4. 個別設定 > 5. 詳細設定 > 6. 確認

エラー通知先: Riku Shomura

ベースURL (任意): [JIRA BASE URL]/secure/CreateIssueDetails!init.jspa?[ARGUMENTS]

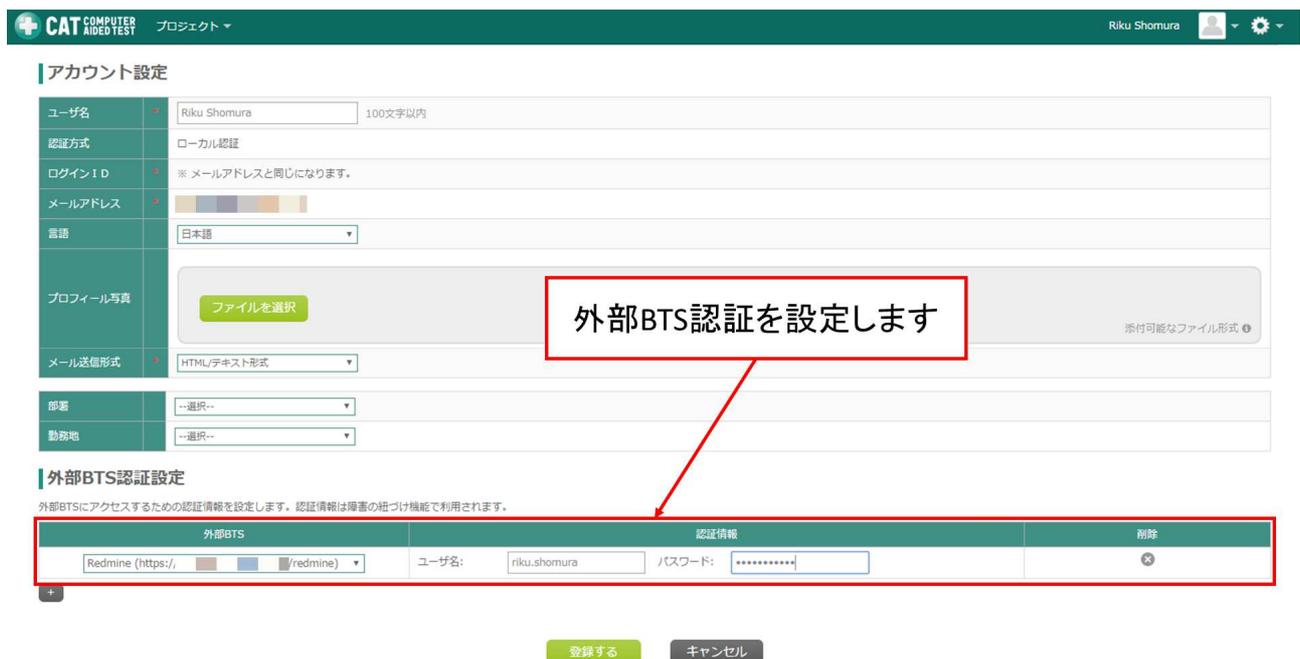
初期値入力を設定します

ヘルプ 戻る 次へ キャンセル

1.1.3. 外部 BTS のログイン情報の一元管理

従来テスト実行管理で外部 BTS への課題紐付けをする際は、ダイアログでログイン情報から入力していました。本バージョンからはユーザ設定画面にて、URL 毎にログイン情報を定義し、一元管理できるようになりました。これによりシステムでログイン情報を管理することで、各プロジェクトでログイン情報の入力が不要になりました。

外部 BTS の認証情報はアカウント設定でユーザ毎に設定できます。Redmine と JIRA の場合ユーザ名とパスワードの入力が必要であり、Backlog の場合は API キーの入力が必要です。



アカウント設定

ユーザ名: Riku Shomura (100文字以内)

認証方式: ローカル認証

ログインID: ※メールアドレスと同じになります。

メールアドレス: [Redacted]

言語: 日本語

プロフィール写真: ファイルを選択 (添付可能なファイル形式)

メール送信形式: HTML/テキスト形式

部署: --選択--

勤務地: --選択--

外部BTS認証設定

外部BTSにアクセスするための認証情報を設定します。認証情報は障害の掘付け機能で利用されます。

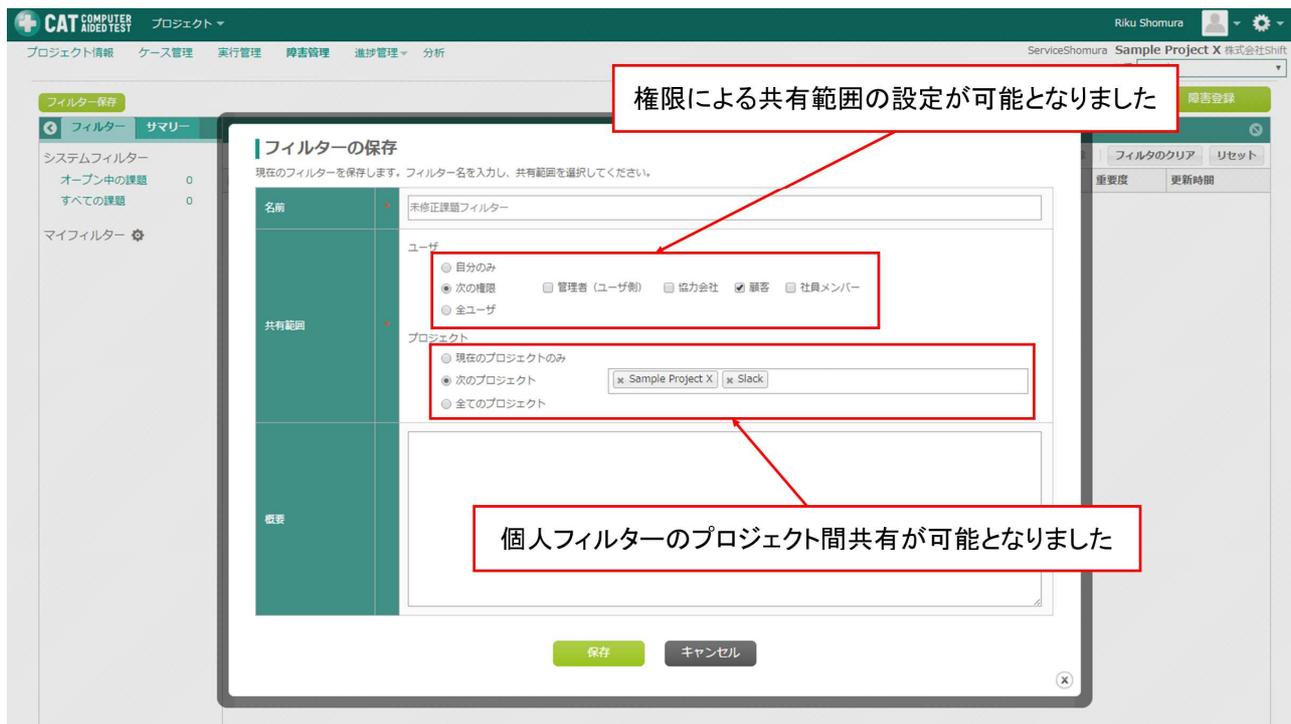
外部BTS	認証情報	削除
Redmine (https://.../redmine)	ユーザ名: riku.shomura パスワード: [Masked]	[X]

登録する キャンセル

1.2. BTS のフィルター機能強化

CAT4.12 では BTS 機能のフィルター共有機能の強化を行いました。CAT4.11 以前では個人フィルターはプロジェクト間で共有できず各プロジェクトで作成する必要がありました。本バージョンからは、個人フィルターは任意のプロジェクト間で共有できるようになり、プロジェクト毎に作成する必要がなくなりました。

また共有フィルターは、共有範囲を権限毎に設定できるようになりました。



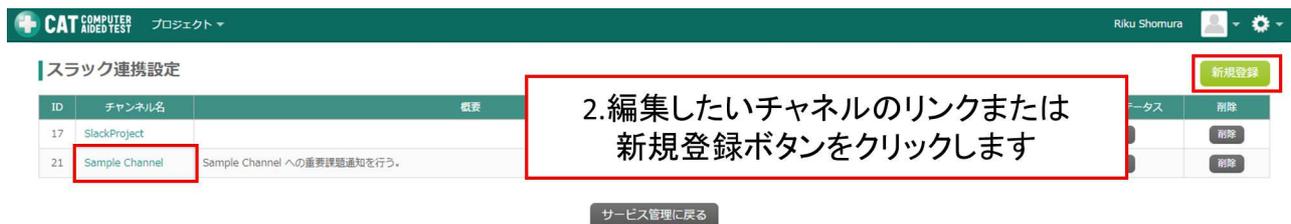
1.3. Slack 連携サポート

今回のバージョンアップにより Slack への通知が可能となりました。従来の CAT では課題とテスト課題に関する通知、日次レポートをメールだけでなく、Slack にも通知することができます。以下で Slack 通知の設定方法を説明します。

1. Slack 連携を行いたいサービスのサービス管理画面を開き Slack 連携設定リンクをクリックしてください。



2. 新規チャンネルを登録する場合は新規登録ボタンを押して下さい。既存のチャンネルを編集する場合は編集したいチャンネルをクリックしてください。また、この画面でチャンネルの有効化、無効化、削除を行うことができます。



3. チャンネルの設定を行います。設定項目については以下の表を参照してください。

チャンネル設定項目	説明
チャンネル名	チャンネル名を設定してください。
Web フック	通知先に設定したい Slack チャンネルの Web フックを入力してください。Web フックは通知先の Slack チャンネルに IncomingWebHooks(※)を設定し、これを開くと確認することができます。確認した Web フックをコピーしこの項目に貼り付けてください。 ※IncomingWebHooks は AppDirectory から検索により見つけることができます。(2016/3/10 時点)
概要	チャンネルの説明を記載してください。スラック連携設定画面で確認することができます。
言語	Slack 上に通知される通知の言語を選択してください。
チャンネル利用プロジェクト	通知を行うプロジェクトを選択してください。
通知オプション	通知したい項目をオンにしてください。 課題通知： 課題通知フィルター条件を満たす課題の作成、編集、削除を通知します。プロジェクトが外部 BTS と同期している場合は利用できません。 テスト課題通知： テスト課題の作成、編集、削除を通知します。 テスト完了通知： テスト仕様書の全テストケースの実行完了時に通知します。
レポート	オンにするとレポート通知を指定時刻に行います。
課題通知フィルター	通知を行う課題をフィルタリングすることができます。種別毎に通知を行うフィールド値条件を指定することができます。同じ行内の各条件は AND 条件です。各行は OR 条件です。 フィルタリングに利用できるフィールドタイプは以下の通りです。 ・単一選択リスト ・複数選択リスト ・チェックボックス ・ラジオボックス ・メンバー ・機能 ・ステータス

CAT 4.12 リリースノート

	<ul style="list-style-type: none"> ・バージョン ・発生環境
--	---

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト ▾
Riku Shomura

チャンネル設定

チャンネル名 255文字まで入力可能です

Webフック

概要

Sample Channel への重要課題通知を行う。

言語 日本語 ▾

チャンネル利用プロジェクト Sample Project X ▾

通知オプション 課題通知 (※外部BTS連携時には課題通知は利用できません)
 テスト課題通知
 テスト完了通知

レポート レポートを定期的にご送信します。
 08:30 ▾ ※プロジェクト設定のメールフォーマットが利用されます

課題通知フィルター

ID	課題種別	条件	削除
1	種別 不具合 ▾	重要度 <input checked="" type="checkbox"/> Major <input checked="" type="checkbox"/> Critical <input checked="" type="checkbox"/> Blocker	+ 削除
2	種別 要望z ▾	+ボタンを押してフィールド値条件を追加してください	+ 削除
3	種別 問い合わせ ▾	+ボタンを押してフィールド値条件を追加してください	+ 削除

3.チャンネル設定を行います

更新
キャンセル

1.4. メール送信形式

CAT4.12 ではメール送信形式をユーザ毎に選択可能となりました(※)。これにより、テキスト形式のメールのみ対応のメールクライアントをお使いの場合でも、文字化けやレイアウトの崩れのないメールを受信できるようになりました。

メール送信形式はアカウント設定で変更可能です。また管理者ならばユーザ管理から他ユーザの変更を行うこともできます。選択可能な形式は以下の表の通りです。初期設定は HTML 形式となっています。

※レポートメールは HTML 形式のみ送信可能です。

メール送信形式	説明
HTML 形式	HTML メールのみ送信します。従来の CAT のメール送信形式です。
テキスト形式	テキストメールのみ送信します。HTML 形式非対応のメールクライアントをお使いの場合や HTML 表示を行いたくない場合にご利用ください。
HTML/テキスト形式	メールクライアントに応じたメール表示がされます。HTML 形式対応のメールクライアント、非対応のメールクライアントの両方を利用する場合等に有用です。

CAT 4.12 リリースノート

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト Riku Shomura

アカウント設定

ユーザ名	<input type="text" value="Riku Shomura"/>	100文字以内
認証方式	ローカル認証	
ログインID	※ メールアドレスと同じになります。	
メールアドレス	<input type="text" value="riku.shomura@shiftinc.jp"/>	
言語	<input type="text" value="日本語"/>	
プロフィール写真	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 添付可能なファイル形式	
メール送信形式	<input type="text" value="HTML/テキスト形式"/> <input type="text" value="HTML形式"/> <input type="text" value="テキスト形式"/> <input type="text" value="HTML/テキスト形式"/>	
部署	<input type="text" value="--選択--"/>	
勤務地	<input type="text" value="--選択--"/>	

アカウント設定からメール送信形式の選択可能

CAT COMPUTER AIDED TEST プロジェクト Riku Shomura

ユーザの登録

ユーザ名	<input type="text"/>	100文字以内
認証方式	<input type="text" value="CAT"/>	
Eメール	<input type="text"/>	200文字以内 <input checked="" type="checkbox"/> ログインIDとしてメールアドレスを利用
ログインID	※ メールアドレスと同じになります。 200文字以内	
パスワード	<input type="text"/>	パスワードを設定せずに登録するとEメール欄にパスワード登録メールを送信します
権限	<input type="text" value="--選択--"/>	
管理者権限を付与する	<input type="checkbox"/>	
部署	<input type="text" value="--選択--"/>	
ランク	<input type="text" value="--選択--"/>	
勤務地	<input type="text" value="--選択--"/>	
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 入社予定 <input type="radio"/> 在籍中 <input type="radio"/> 退職済み	
メール送信形式	<input type="text" value="HTML形式"/> <input type="text" value="HTML形式"/> <input type="text" value="テキスト形式"/> <input type="text" value="HTML/テキスト形式"/>	
入社日	<input type="text"/>	
退職日	<input type="text"/>	
プロフィール写真	<input type="button" value="ファイルを選択"/> 添付可能なファイル形式	
CAT検定評価	正確性 <input type="text" value="1"/> スピード <input type="text" value="1"/> 伝達能力 <input type="text" value="1"/> テスト適正 <input type="text" value="1"/> タイピング <input type="text"/> 総合(入力範囲(半角数字): 0から5.0まで) 設計 <input type="text"/> 総合(入力範囲(半角数字): 0から5.0まで)	

ユーザ管理からメール送信形式の選択可能

2. 障害要望対応一覧

障害 ID	修正内容
49 518	<p>表示の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフィール写真未設定時のアイコンを変更 ・BTS のメンバー選択リストをピックアップに変更 ・ピックアップリストの UI を Flat スタイルに変更
1055	<p>外部 BTS の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Backlog 連携を追加 [JIRA] ・ ID の表示を外部 BTS の ID に変更 ・ 課題起票時の初期値を設定可能に変更 ・ 遷移先画面を編集画面から参照画面に変更 ・ 設定時に JQL による課題絞り込み機能追加
896 1383	<p>メール機能の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールの送信形式を選択可能に変更 (HTML/テキスト) ・メール送信言語を受信ユーザの表示言語に変更
1264 1465 1444	<p>BTS 改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルターの共有設定について改善 ・カスタムフィールドの初期値リセット機能追加 ・課題登録時、種別変更時に入力値を引き継ぐように改善
1380	Slack 連携のサポート
1472	<p>進捗管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境毎、メンバー毎タブでの CSV ダウンロードに対応
1394 1470	<p>ユーザ管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロフィール画像登録時に自動リサイズ機能追加 ・BTS の障害ステータスのクローズ権限をプロジェクトチーム設定内の BTS ステータス終了フラグの ON/OFF で制御できていない不具合を修正 (CAT BTS を利用する場合) <p>※プロジェクト基本設定画面内、チーム設定で設定</p>  <p>The screenshot shows the 'チーム情報設定' (Team Information Settings) page. At the top, there are tabs for 'メンバーの追加' and 'メンバーの編集'. Below that is a table with columns: No, ユーザ名, 部署, 役割, ステータス, 終了日, プロジェクトレポートメール, 障害メール, テスト課題メール, 編集. The first row shows a user named Takeshi Yonezawa with the role 'チーム管理者' and status '有効'. The '編集' button for this user is highlighted in green. Below the table is a form for editing the user's profile, including fields for 'Eメール', 'チーム管理者' (checked), '権限' (with 'BTSのステータスを終了にできる' checked and highlighted in red), '役割', '開始日', '終了日', and 'ステータス' (radio buttons for '有効' and '無効'). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' buttons.</p>
	<p>速度改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログイン時のパフォーマンス改善 ・外部 BTS の処理構造見直しによる改善

— 以上 —